

# 第11回ごみと水を考える集いからのアピール

本日、名古屋市港区の藤前会館に山、川、里、海で活動する市民団体・教育機関・企業・行政等 38団体、82人が参加して、第11回「ごみと水を考える集い」を開催しました。

私たちは、日本海鳥グループの越智大介氏の「漁業における問題～混獲と海洋ごみ～」の講演で藤前干潟や伊勢・三河湾とつながる海において混獲や海洋ごみによって多くの生きものが被害にあっている現状を知り、私たちができることについても学びました。

また、「釣りごみ問題について」の発表と交流では、コロナ禍を機に釣りごみが増えた藤前干潟の現状や活動を共有した後、四日市や谷津干潟などの他湿地における釣りごみの状況や対策について情報交換し、さらに今後、望まれる活動について意見を交えました。

本日の参加者は「第11回ごみと水を考える集い」の参加をとおして、改めて自らのフィールドでの取組みの大切さと、伊勢・三河湾流域圏一体の清掃活動の強化と啓発活動が重要なことを再認識しました。今後も「ごみが生まれない社会づくり」の実現を目指しましょう。

私たちは、以下の7項目を呼びかけます。

- 子どもたちが安心して元気に遊べる水辺を取り戻しましょう。
- たくさんの生きものたちが生息する場を取り戻しましょう。
- ごみを見つけたら勇気を出して拾いましょう。
- ごみを捨てない大人と子どもをはぐくみましょう。
- ごみが生まれない社会をつくりましょう。
- 山、川、里、海それぞれで活動する人どうしの繋がりをつくりましょう。
- 流域全体で人と自然が共生する環境をつくりましょう。

2024年2月3日

第11回 藤前干潟 伊勢・三河湾のごみと水を考える集い参加者一同

## <アピールを採択した第11回ごみと水を考える会に参加した教育機関・企業・市民団体等>

四日市大学環境情報学部、愛知県立大学野鳥サークルとりとり隊、愛知県立惟信高等学校、中部大学NPO・ボランティアセンター、南陽学区青パト防犯パトロール隊、港鯪城会、北鯪城会、瑞穂鯪城会、鯪城・堀川と生活を考える会、日本海鳥グループ、谷津干潟ユースプロジェクト、WATERSIDE CONTROL、一般財団法人みなと総合研究財団、NPO法人伊勢湾フォーラム、松並木つくり隊、サラヤエスビーエス株式会社、株式会社地域環境計画、SAVE the Ocean株式会社、NPO法人四日市ウミガメ保存会、ウミガメネットワーク三重、22世紀奈佐の浜プロジェクト委員会、NPO法人土岐川・庄内川サポートセンター、萌木舎、土岐川・庄内川流域ネットワーク、土岐川・庄内川源流の森委員会、名古屋市野鳥観察館（東海・稲永ネットワーク）、NPO法人藤前干潟を守る会、藤前干潟クリーン大作戦実行委員会

## <第11回ごみと水を考える会参加の行政・公的機関>

名古屋市会、愛知県尾張建設事務所、愛知県資源循環推進課、三重県環境生活部大気・水環境課、名古屋市環境局環境企画課、環境省中部地方環境事務所、環境省中部地方環境事務所名古屋自然保護官事務所、国土交通省中部地方整備局庄内川河川事務所、名古屋港管理組合港営部港営課、名古屋港管理組合企画調整室